

Interview



町消防団第2分団
前分団長
小貫 拓馬 さん

笠石区のワークショップに3回ほど出席しました。実際に町中を歩いてみると空家が増え、火災などの危険性がある場所が増えていると感じました。いざというときのために地域、各機関が連携できる体制を整えておく必要があると思いました。

町公式 LINE を活用しよう！

災害時は町 LINE から情報発信しています。警報、避難所の開設などの情報もお知らせしますので、ぜひ鏡石町を友だち登録してご活用ください！



「友だち登録」はこちらから

新 防災士資格取得 助成制度について



地域防災力向上を目的に、地域防災の担い手となる防災士の養成を促進し、災害に強いまちづくりを進めるため、防災士資格取得に関する費用を助成します。ぜひご活用ください。

※防災士とは
「地域の防災リーダー」として活躍できる人材となれるよう防災に関する知識を習得する資格

●助成金額 上限 63,800 円
※研修講座受講料、教本代等資格取得にあたりかかった費用



新 住宅用火災警報器 給付事業について



火災の早期発見、速やかな避難誘導につなげ、火災から大切な命や財産を守るため、対象の住宅への火災警報器を無償で給付します。

- 対象者 以下すべての要件を満たす方
- ①町内に住所がある、75 歳以上の方のみの世帯
- ②持ち家にお住まいの方
- ③機器を設置する住宅が、過去 10 年以内に本制度の対象となっていない方



●問い合わせ先 総務課 ☎ 62-2111



消防団による消火活動指導



まち歩きの様子



防災マップの作成

もしもに備えて強化する 地域コミュニティ・共助力

東日本大震災から15年が経過しました。大規模災害が発生した直後は、交通網の寸断、火災の同時多発などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき力を発揮するのが「隣近所をはじめとした地域の協力体制」です。今月号では、地域防災の強化についてお知らせします。

自然災害やその他の緊急事態に対する地域社会の体制を強化するためには、地域防災力の向上が非常に重要となります。

地域防災力の向上のためには、まず、地域の特性やリスクを把握することが基本です。各地域には、独自の地理的特性や過去の災害履歴があり、具体的な危険要因を理解することが効果的な防災計画の策定に繋がります。住民が地域のリスクを理解し、日頃から防災意識を高めることで、いざというときの行動が迅速かつ的確になるのです。

また、防災訓練や避難訓練を定期的に行い、住民同士の絆を深めることで、協力体制を整えることが大切です。育成したネットワークは、災害発生時に迅速な情報共有や助け合いを可能にします。

町では、行政区ごとに代表の方々と実際に町内を歩いたり、協議を重ね、行政区ごとの防災計画の作成を支援しています。日頃から、自分たちの暮らす町の特性を知り、有事の際にスムーズに行動できるように準備を進めていますので、皆さんも、地区防災計画を作成する際はご協力をお願いします。

地域防災力の向上は、単なる対策に留まらず、コミュニティ全体の絆を深め、住民が共に生き抜く力を培うことにも繋がります。災害に備えることで、地域の安全を守り、様々な困難に立ち向かう力を育むことができます。今後、地域防災力の強化に向けた取組を継続し、すべての住民が安心して暮らせる社会を目指すことが大切です。

災害に備えよう！

支援や救助が届くまでの約3日間過ごせる程度の防災グッズリストです。グッズを備え、常に使えるようにしておきましょう。

- 【必須防災グッズリスト】
- ・飲料水 ・非常食
 - ・紙やプラスチックの食器類
 - ・携帯ラジオ ・常備薬・応急セット
 - ・携帯トイレ ・アルミシート
 - ・懐中電灯 ・照明
 - ・笛 ・軍手 ・マスク
 - ・ビニール袋 ・ラップ
 - ・ウェットティッシュ
 - ・雨具 ・下着
 - ・トイレトペーパー
 - ・筆記用具
 - ・ガムテープ
 - ・ハサミやカッターなどの刃物類



地区防災計画

行政区ごとの防災計画の作成を支援しています。計画には、防災マップや災害発生時にとるべき行動や緊急連絡先などが記されています。

この計画は、地区の皆さんが実際に町内を歩いたり話し合っ実情に合わせて作成したものです。日頃から内容を確認、把握し、緊急時に慌てずに行動できるよう備えましょう。

①地区の防災マップ

危険個所などがリストアップされています



②防災活動内容

災害の内容、程度によってとる行動が記されています



③緊急連絡先

行政機関、消防、警察、避難所などの連絡先が記されています

